



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月15日

上場会社名 アイエクス・ナレッジ株式会社  
 コード番号 9753 URL <https://www.ikic.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 文男  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 中谷 彰宏  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6400-7000

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	17,456	1.7	784	4.7	827	5.9	540	7.7
2019年3月期	17,761	6.6	823	26.7	879	26.9	586	26.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	54.31		11.3	8.5	4.5
2019年3月期	58.52		13.1	9.2	4.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 31百万円 2019年3月期 14百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	9,757	4,945	50.7	496.48
2019年3月期	9,744	4,651	47.7	466.90

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,945百万円 2019年3月期 4,651百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	473	86	238	3,952
2019年3月期	572	456	378	3,804

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		20.00	20.00	199	34.2	4.5
2020年3月期		0.00		15.00	15.00	149	27.6	3.1
2021年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00		26.6	

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当 10円00銭(誕生20周年記念配当)

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,017	3.1	800	2.0	842	1.8	561	3.6	56.34

(注) 新型コロナウイルスの感染拡大や収束の状況等により、業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	11,200,000 株	2019年3月期	11,200,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	1,239,189 株	2019年3月期	1,238,552 株
期中平均株式数	2020年3月期	9,961,058 株	2019年3月期	10,019,325 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

※ 決算補足説明資料につきましては、2020年6月1日(月)に当社ホームページへの掲載を予定しております。

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、第4四半期から続く新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響が懸念され、先行きが不透明な状況にあります。

情報サービス産業市場におきましては、企業における人手不足や働き方改革への取り組みなどを背景とした生産性向上のためのIT投資や、デジタル化(DX)による競争力強化を目的とした戦略的IT投資が堅調に推移しました。その一方で、それらIT需要に対応するための技術者の確保が重要な課題となっております。

このような環境の中で当社は、「中核事業の拡大」「次期成長事業の創出」「事業基盤の強化」を中期経営方針として3ヶ年の中期経営計画を策定し、営業体制、開発体制、案件対応力の強化に加え、お客様のDXニーズへの対応やデジタル先端技術を活用したサービスの創出に取り組んでまいりました。また、注力事業である第三者検証サービスの拡販、自動車産業における車載組込みシステム開発分野の拡大、新規事業創出を目指したブロックチェーン技術に関する顧客との共同研究などを推進してまいりました。加えて、働き方改革や業務改善を推進し企業価値の向上に努めてまいりました。

当事業年度の動向を品目別に見ますと、コンサルティング及びシステム・インテグレーション・サービスでは、金融機関向けシステム検証案件や車載組込みシステム開発案件が堅調に推移し、また、化粧品会社向けシステム開発案件などの受注が拡大いたしました。しかしながら、大手通信事業者向けシステム検証案件、大手金融機関や重工業メーカー向けシステム開発案件などの収束をカバーするには至りませんでした。さらに、開発フェーズから運用フェーズへ移行した案件もあり、前事業年度と比べて売上高は減少いたしました。

システムマネジメントサービスにおいては、技術者の育成・確保による対応力の強化や営業展開が奏功し、運用設計や基盤構築案件の受注が拡大するなど、売上高は増加いたしました。

この結果、当事業年度の売上高は、17,456百万円(前年同期比1.7%減)となりました。利益面については、事業の選択と集中や業務改善を進めるなど事業基盤の強化に取り組んでまいりましたが、当社誕生20周年に伴う営業活動や、次期成長事業創出の為の技術者教育や調査研究に係る費用が増加したことから、営業利益784百万円(前年同期比4.7%減)、経常利益827百万円(同5.9%減)、当期純利益540百万円(同7.7%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における資産合計は9,757百万円となり、前事業年度末に比べ13百万円増加しました。これは主に「現金及び預金」の増加347百万円、「有価証券」の減少200百万円、「仕掛品」の減少187百万円、「売掛金」の増加80百万円、「投資有価証券」の減少82百万円によるものであります。

#### (負債)

当事業年度末における負債合計は4,812百万円となり、前事業年度末に比べ280百万円減少しました。これは主に「未払金」の減少103百万円、「未払消費税」の増加77百万円、「預り金」の減少79百万円によるものであります。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産合計は4,945百万円となり、前事業年度末に比べ294百万円増加しました。これは主に「利益剰余金」の増加341百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の47.7%から50.7%となっております。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ148百万円増加（前事業年度は262百万円の減少）し、3,952百万円となりました。

当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は473百万円（対前年同期比17.3%減）となりました。

これは主に収入では税引前当期純利益の計上795百万円であり、支出ではたな卸資産の減少187百万円、未払金の減少113百万円、売上債権の増加93百万円、法人税等の支払による支出307百万円を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は86百万円（対前年同期比81.1%減）となりました。

これは主に収入では有価証券の償還による収入100百万円、支出では有価証券の取得による支出117百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は238百万円（対前年同期比36.9%減）となりました。

これは主に配当金の支払額198百万円、長期借入金の返済による支出40百万円によるものであります。

### (4) 今後の見通し

企業のIT投資は、競争力強化に向けた業務の効率化や人材不足への対応などにおいて、引き続き堅調に推移すると見込まれます。また、デジタル先端技術を活用してビジネス変革を図るDXの推進に向けた戦略的IT投資は、今後さらに加速すると考えられます。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大が経済に及ぼす影響は、先行きが不透明な状況にあります。

当社はこうした市場環境のもと、中長期的に既存の中核事業の拡大を図ると同時に、DXに取り組むお客様のニーズに対応する技術・サービスへの取り組みや、デジタル先端技術を活用したプラットフォーム事業など、次期成長事業の創出を推進してまいります。

コンサルティング及びシステム・インテグレーション・サービスでは、大型プロジェクトの収束に伴い縮小したシステム開発および第三者検証サービスの受注拡大に尽力してまいります。特に、引き続き需要拡大が見込まれる車載組込システム開発への対応を強化してまいります。また、注力事業の第三者検証サービスでは、サービス範囲の拡大や水平展開により、新規顧客の獲得に努めてまいります。

システムマネージメントサービスにおいては、技術者の育成・確保を通じて、基盤構築への案件対応力を強化し、受注の拡大を目指してまいります。

以上により、次期の業績は、売上高18,017百万円、営業利益800百万円、経常利益842百万円、当期純利益561百万円をそれぞれ見込んでおります。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大や収束の状況等により、上記の見通しは変動する可能性があります。業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,655,130	4,002,805
受取手形	4,320	17,841
売掛金	2,603,157	2,683,388
有価証券	200,000	-
商品及び製品	485	485
仕掛品	314,616	126,825
前払費用	190,998	193,560
その他	10,887	11,092
貸倒引当金	-	△19,179
流動資産合計	6,979,595	7,016,819
固定資産		
有形固定資産		
建物	572,417	600,392
減価償却累計額	△485,370	△491,173
建物(純額)	87,046	109,218
構築物	4,900	4,900
減価償却累計額	△4,900	△4,900
構築物(純額)	0	0
車両運搬具	3,709	3,709
減価償却累計額	△3,709	△3,709
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	236,420	247,913
減価償却累計額	△213,784	△221,455
工具、器具及び備品(純額)	22,636	26,457
土地	116,992	116,992
リース資産	16,603	16,603
減価償却累計額	△16,603	△16,603
リース資産(純額)	-	-
有形固定資産合計	226,675	252,669
無形固定資産		
ソフトウェア	18,896	29,880
電話加入権	8,689	8,689
無形固定資産合計	27,586	38,570
投資その他の資産		
投資有価証券	1,256,231	1,173,786
関係会社株式	43,000	43,000
差入保証金	225,318	225,755
繰延税金資産	958,936	981,811
その他	26,973	25,459
投資その他の資産合計	2,510,459	2,449,813
固定資産合計	2,764,722	2,741,053
資産合計	9,744,317	9,757,872

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	610,667	565,281
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払金	384,165	280,461
未払法人税等	214,567	159,538
未払消費税等	153,714	230,724
前受金	13,970	7,388
預り金	118,922	39,331
賞与引当金	990,698	949,625
役員賞与引当金	16,890	17,285
受注損失引当金	28,074	-
その他	28,134	18,809
流動負債合計	2,599,806	2,308,444
固定負債		
長期借入金	110,000	70,000
退職給付引当金	2,283,696	2,334,586
資産除去債務	63,596	63,292
長期末払金	36,200	36,200
固定負債合計	2,493,492	2,504,078
負債合計	5,093,299	4,812,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金		
資本準備金	295,224	295,224
その他資本剰余金	995,821	995,821
資本剰余金合計	1,291,045	1,291,045
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,452,501	2,794,257
利益剰余金合計	2,452,501	2,794,257
自己株式	△479,567	△480,060
株主資本合計	4,444,877	4,786,139
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	206,141	159,209
評価・換算差額等合計	206,141	159,209
純資産合計	4,651,018	4,945,349
負債純資産合計	9,744,317	9,757,872

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	17,761,736	17,456,323
売上原価	14,691,133	14,217,232
売上総利益	3,070,602	3,239,091
販売費及び一般管理費	2,246,795	2,454,108
営業利益	823,807	784,982
営業外収益		
受取利息	1,858	3,794
受取配当金	39,906	28,716
投資事業組合運用益	5,936	1,921
助成金収入	1,539	1,842
受取手数料	2,706	2,601
為替差益	1,039	-
雑収入	5,550	6,150
営業外収益合計	58,537	45,027
営業外費用		
支払利息	1,448	674
支払手数料	1,115	-
為替差損	-	993
貸倒引当金繰入額	-	512
雑損失	80	398
営業外費用合計	2,643	2,578
経常利益	879,701	827,430
特別利益		
会員権売却益	460	50
固定資産売却益	30	2
特別利益合計	491	52
特別損失		
会員権評価損	6,016	1,350
固定資産廃棄損	22	706
投資有価証券評価損	-	30,335
特別損失合計	6,038	32,391
税引前当期純利益	874,154	795,091
法人税、住民税及び事業税	287,378	256,269
法人税等調整額	474	△2,161
法人税等合計	287,853	254,107
当期純利益	586,301	540,984

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,180,897	295,224	995,821	1,291,045	1,967,321	1,967,321
当期変動額						
剰余金の配当					△101,120	△101,120
当期純利益					586,301	586,301
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	-	-	-	-	485,180	485,180
当期末残高	1,180,897	295,224	995,821	1,291,045	2,452,501	2,452,501

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△348,475	4,090,789	230,990	230,990	4,321,779
当期変動額					
剰余金の配当		△101,120			△101,120
当期純利益		586,301			586,301
自己株式の取得	△131,092	△131,092			△131,092
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△24,849	△24,849	△24,849
当期変動額合計	△131,092	354,087	△24,849	△24,849	329,238
当期末残高	△479,567	4,444,877	206,141	206,141	4,651,018

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,180,897	295,224	995,821	1,291,045	2,452,501	2,452,501
当期変動額						
剰余金の配当					△199,228	△199,228
当期純利益					540,984	540,984
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	-	-	-	-	341,755	341,755
当期末残高	1,180,897	295,224	995,821	1,291,045	2,794,257	2,794,257

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△479,567	4,444,877	206,141	206,141	4,651,018
当期変動額					
剰余金の配当		△199,228			△199,228
当期純利益		540,984			540,984
自己株式の取得	△492	△492			△492
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）			△46,931	△46,931	△46,931
当期変動額合計	△492	341,262	△46,931	△46,931	294,331
当期末残高	△480,060	4,786,139	159,209	159,209	4,945,349

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	874,154	795,091
減価償却費	34,498	34,264
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△15,256	50,889
賞与引当金の増減額 (△は減少)	45,936	△41,073
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	27,738	△28,074
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	19,179
受取利息及び受取配当金	△41,765	△32,511
支払利息	1,448	674
為替差損益 (△は益)	△1,039	993
投資事業組合運用損益 (△は益)	△5,936	△1,921
固定資産廃棄損	22	706
固定資産売却損益 (△は益)	△30	△2
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	30,335
投資有価証券売却損益 (△は益)	△460	△50
会員権評価損	6,016	1,350
売上債権の増減額 (△は増加)	△106,638	△93,752
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△108,607	187,791
仕入債務の増減額 (△は減少)	40,944	△45,386
未払金の増減額 (△は減少)	1,485	△113,925
未払消費税等の増減額 (△は減少)	49,919	77,009
その他の資産の増減額 (△は増加)	△3,203	△2,803
その他の負債の増減額 (△は減少)	25,491	△89,272
小計	824,716	749,512
利息及び配当金の受取額	40,896	32,550
利息の支払額	△1,481	△677
法人税等の支払額	△291,410	△307,821
営業活動によるキャッシュ・フロー	572,722	473,564
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△50,000	△297
有価証券の取得による支出	△609,318	△117,125
有価証券の売却による収入	202,774	1,012
有価証券の償還による収入	-	100,000
固定資産の取得による支出	△13,631	△69,363
資産除去債務の履行による支出	-	△2,890
投資事業組合からの分配による収入	13,780	2,850
その他の支出	△80	△574
投資活動によるキャッシュ・フロー	△456,476	△86,388

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△145,000	△40,000
自己株式の取得による支出	△131,092	△492
リース債務の返済による支出	△1,131	-
配当金の支払額	△101,193	△198,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△378,417	△238,805
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△262,171	148,370
現金及び現金同等物の期首残高	4,066,263	3,804,091
現金及び現金同等物の期末残高	3,804,091	3,952,462

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	43,000千円	43,000千円
持分法を適用した場合の投資の金額	239,465	264,518
持分法を適用した場合の投資利益の金額	14,826	31,784

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	466.90円	496.48円
1株当たり当期純利益金額	58.52円	54.31円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益(千円)	586,301	540,984
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	586,301	540,984
期中平均株式数(千株)	10,019	9,961

(重要な後発事象)

該当事項はありません。